

City Life NEWS

全国で注目される施策や課題は、地域で暮らす私たちにどう影響するのか?身近に起きた出来事やトレンドなど、幅広い分野のニュースを紹介していきます。ネットでもさまざまなニュースを紹介しています。



シティライフNEWS で検索

市の未来を動かす 最上位プラン「総合計画」 市民とともに住みよい環境をつくる



四季折々の自然に囲まれ、市民憩いの場にもなっている芦屋川。

自治体では、全ての施策の基本となり、まちづくりの根幹をなす「総合計画」を作成している。一般的に、目指す将来像を記載する「基本構想」とそれを実現するための方向性を記載する「基本計画」、具体的な施策を示す「実施計画」によって構成されている。芦屋市では、どのような総合計画のもと、どこを目指して進んでいるのか。市にうかがった。

計画期間と方針

芦屋市では、平成23年度から平成32年度までの10年間で第4次芦屋市総合計画として策定、うち平成28年度からの5年間で後期基本計画として位置づける。基本方針には「人と人がつながって新しい世代につなげる」などの4分野を重点施策として定め、地域全体で支える子育て、街の自然や住環境についてなど、目標とする芦屋の姿を示している。



芦屋市立美術博物館の庭で、自由に図書館の本を読むことができる「niwa-doku」。

昨年に続き今年も美術博物館と谷崎潤一郎記念館の庭を開放し、図書館の本が芝生の庭で読める「niwa-doku(にわどく)」を開催した。同イベントでは、本の交換会や子どもへの読み聞かせなどの企画を実施し、市民が本に触れるきっかけや、読書を通じた世代間の交流につながった。

官民一体で整備 より良い住環境

恵まれた自然や美しい街並みから、良質な住宅地として知られる芦屋市。住環境の維持・整備は、総合計画の重点施策にも位置づけられている。全国で最も進んでいる無電柱化や「屋外広告物条例」の規制により、景観を保全。さらに交通ルールとマナーの周知徹底、通称「市民マナー条例」により、市内全域の公共の場所での歩行喫煙を禁止するなど、市民と行政が一体となって好ましい住環境の形成に取り組む。

また、文化レベルの高いまちづくりの一環として、「読書の街」プロジェクトを推進。

教育・子育てには 地域の力を活用

教育に高い関心を持つ市民が多い同市は、幅広い世代が子どもと関わる取り組みにも力を入れる。その一つが市内8校すべての小学校で行われる放課後子ども教室「あしやキッズスクエア」だ。遊びながら学ぶをテーマに、地域ボランティアや高校・大学生の参画を得ながら、放課後での児童の居場所作りと将棋、折り紙、プログラミングなどの体験プログラムを実施している。また、企業やNPO法人と連携したプログラムも実施しており、今年行われた「駄菓子屋チャ

レンジ]ではお祭りに実際の屋台を出店。小学生が、仕入れから対面での販売、収支計算までを自分たちで行った。

「食育」にも積極的で、小学校給食はすべて自校調理かつ栄養士ごとの独自献立。この取り組みが特色のある給食として全国で話題になり、昨年には『芦屋の給食』というレシピ本を出版。今年にはクックパッドにも芦屋市給食のアカウントを開設し、レシピを掲載している。シェフによる「味覚の授業」や「コラボ給食」、保護者向け料理セミナー等食育の取組を進めている。

学校教育の充実や良質な住環境の一方で、待機児童問題など若い世代の子育てには課題も残す。現在、市では、認定こども園を整備するなど子育て施策に積極的に取り組んでおり、引き続き充実を図っていくとしている。

歴史的建造物の 活用も市民主体で

市民参画と協働により進められている芦屋市の総合計画。市の担当者は「地元愛が強く、地域のために何かしたい」と思ってくれる市民が多いと感じる。人口の折り返しを迎えるこれからの10年も「いい街」であり



学校ごとに手づくりする給食のレシピをまとめた、「芦屋の給食」。

続けるよう、市民と行政が一体となってまちづくりをしていく」と話す。それを象徴するプロジェクトが、JR芦屋駅から阪神芦屋駅にかけて、歴史的建造物が点在しているエリアのリブランディング。市民が主体的に関わるワークショップを実施し、全国でも珍しいレトロな石積み構法で建築された「旧宮塚町住宅」をリノベーション。女性の就業や起業などの活躍を支援する「芦屋リジューム」事業とも連携し、実践的な支援の場とすることなどが予定されている。他にもコミュニティスペースや起業支援としての活用など、複数のアイデアを検討中。街の良さを残しつつ、新しいまちづくりに挑戦している。



旧宮塚町住宅の現在の外観。昭和27年に石積み構法で建築され、昨年まで市営住宅だった。今後、利用方法は市民とのワークショップなどで決められる。

西宮市 NISHINOMIYA

市長への手紙 市政へのご提案・ご意見をお寄せください ～ 11/1から投函箱を設置 ～

市は、市民の皆さんからの市政に対する具体的な建設的な提案や意見を受け付けています。気軽に提案等をしてもらえるように11/1から「市長への手紙」提案用紙と投函箱を設置します。

【設置場所】
市役所本庁舎1階
総合案内所横、各支所・
市民サービスセンター、
アクタ西宮ステーション

※ご提案等は市ホームページ「市民の声」や郵送、ファクスでも受け付けています。



【お問合せ】
西宮市 市民相談課 TEL.0798-35-3100

芦屋市 ASHIYA

ザ・コレクション 星のような のこすこと／のこされるもの

この度、芦屋市立美術博物館では、小出楯重や大橋了介、伊藤藤郎のほか、芦屋カメラクラブや具体美術協会の関係資料などを所蔵作品とともに紹介し、作家像やグループ像に迫ります。

●会期：2018年 12/8(土)～2019年 2/11(月・祝)まで ●時間：10時～17時(入館は16時半まで)
※休館日・・・月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末、年始(12/28-1/4)
●会場：芦屋市立美術博物館(芦屋市伊勢町12-25) ●観覧料：一般500円、大・高生300円、中学生以下無料

【お問合せ】
芦屋市立美術博物館
TEL.0797-38-5432



小出楯重(自画像)1920年油彩、板 芦屋市立美術博物館蔵

神戸市 KOBE

第24回神戸ルミナリエ テーマ：共に創ろう、新しい幸せの光を (Luci di felicità)

●期間：12/7(金)～16(日)10日間 ●場所：旧外国人居留地および東遊園地 ●時間：月曜～木曜・・・18時頃～21時半 / 金曜・・・18時頃～22時 / 土曜・・・17時頃～22時 / 日曜・・・17時頃～21時半
※混雑状況により点灯時間を繰り上げることがあります。特に、土曜・日曜においては薄暮時に点灯する可能性があります。なお、荒天の場合は、点灯を見合わせる場合があります。



【お問合せ】
神戸観光局 TEL. 078-230-1001

行政 通信

普段何気なく利用しているサービスや、地元の楽しいイベントなど行政の取り組みは多岐にわたります。このコーナーでは、快適に過ごせる市民向けサービスやお楽しみ情報などを紹介していきます。